

フローリングの油汚れ除去の方法

ご家庭で焼き肉や揚げ物をしたあと、フローリングが油でベタベタしてしまいますよね。美味しいけれど、その後のことが大変。そんな理由で躊躇してしまう事はありませんか。そこで、今回はフローリングの表面の清掃についてご案内します。この拭き掃除をすると、ワックスが取れずに表面の油汚れだけが取れて、ベタベタからいつものフローリングの状態になります。

《用意する物》

- ・ポリバケツ
- ・スプレーボトル
- ・重曹(食器洗剤でも油汚れはとれますが、拭き残しがあると掃除の後汚れやすくなります。市販の洗剤だと購入しなければなりません。これらをふまえ、安価で比較的最小さんがお持ちである、重曹の効果を確認し使用しました。)
- ・小さじのスプーン
- ・ビニール手袋
- ・白のマイクロファイバータオル(白だと汚れがはっきりわかります)
- ・水拭き用タオル
- ・乾き拭き用タオル



お掃除手順

- ① フローリングの清掃ではまず、クイックルワイパーや掃除機で掃き掃除をします。
- ② スプレーボトルに重曹水を作ります。
空のスプレーボトルに小さじスプーン1杯を入れます。そして蛇口より水を入れて一杯にします。よく振って重曹を溶かします。
- ③ ポリバケツにお湯を半分くらい入れ、マイクロファイバータオルと水拭き用タオルをバケツに入れ固く絞ります。そして適当に拭きやすいよう折りたたみます
- ④ スプレーをフローリングに満遍なくシュッシュッとかけます。順番に拭いていくので、手の届く範囲ずつ進めて行きます。その上でマイクロファイバーの固く絞った水拭きタオルで表面をふきます。
スプレーせずに床の表面を拭くのと、スプレーした後に床の表面を拭くのでは、汚れのとれ方が全く違います。それは重曹水のアルカリ性によるものです。油は酸性の汚れなので、アルカリ性の水で拭くことでより汚れが取れます。
また、マイクロファイバーの極細繊維がより汚れを掻き取ってくれます。



⑤タオルが汚れて、目に見えてわかると思いますが、キレイな面を出しながら拭きとりましょう。



⑥キレイになったらお湯拭き、乾き拭きをしましょう。
重曹で拭いて仕上げると床の状態がアルカリ性のままです。油は酸性で汚れを引きつけてしまいます。中和の意味でした方が良いです。

注意事項ですが、作業は膝をついて手の届く範囲、いわゆる1平米ほどずつ順番に仕上げましょう。



乾き拭き

